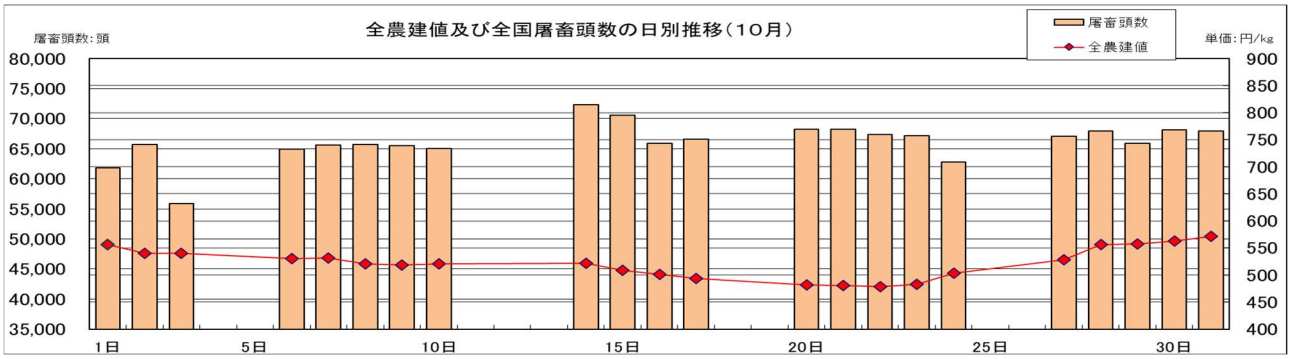
肉豚インフォメーション（10 月）

●10 月の動向

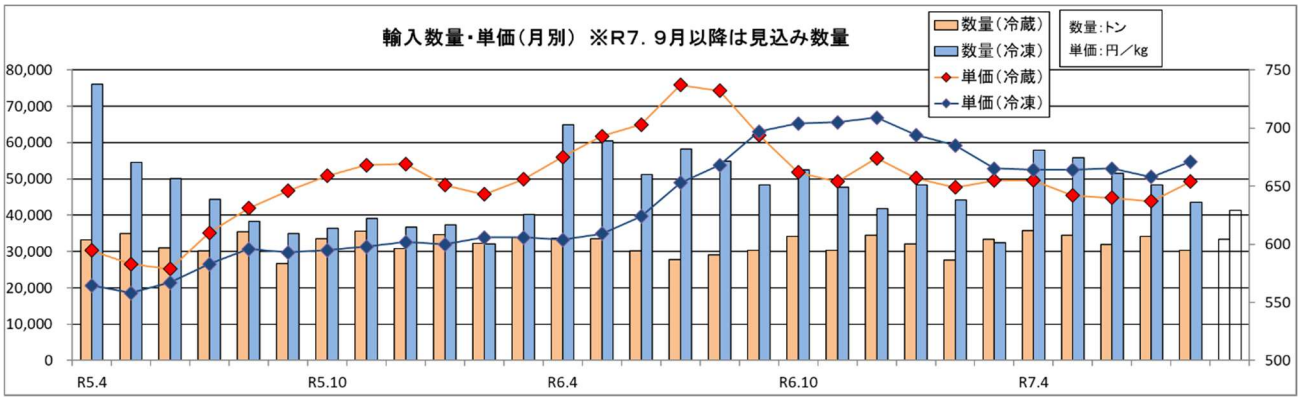
2025 年 10 月（税抜）	2024 年 10 月（税抜）
522 円/kg（48 円安）	570 円/kg

※全農建値

10 月前半は残暑が続いたものの、中旬に入ると一気に気温が下がり、出荷頭数も増加し、7 万頭を超える日もあった。しかし、消費者の節約志向は根強く、軟調な相場展開となった。

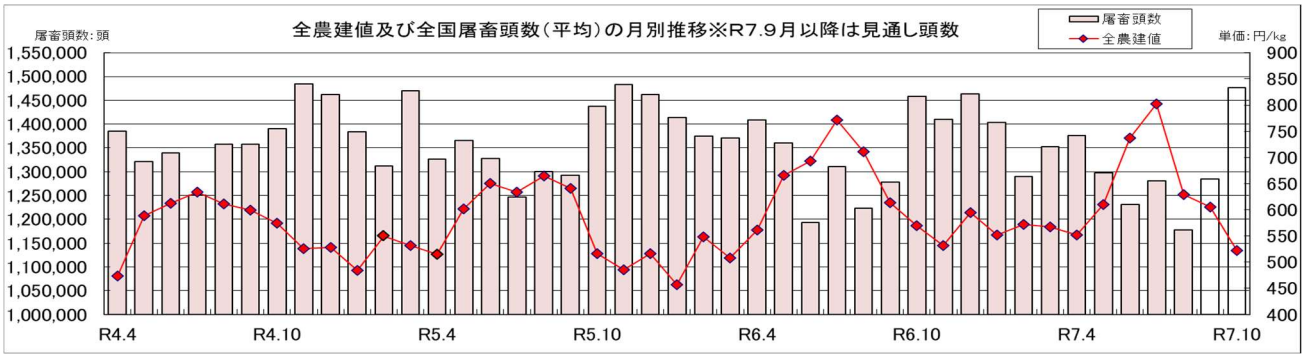


●輸入動向



●11 月の動向

11 月の出荷頭数については、前年同月をやや下回ると予測。



気温もさらに下がり鍋需要が高まることで、需給が締まり、相場を押し上げ、堅調な相場展開となる見込み。

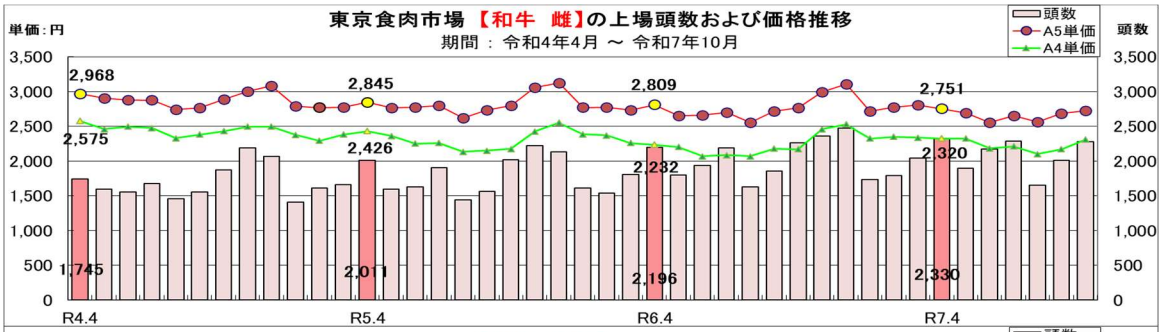
全農建値（税抜）予測レンジは 550 円～600 円とする。

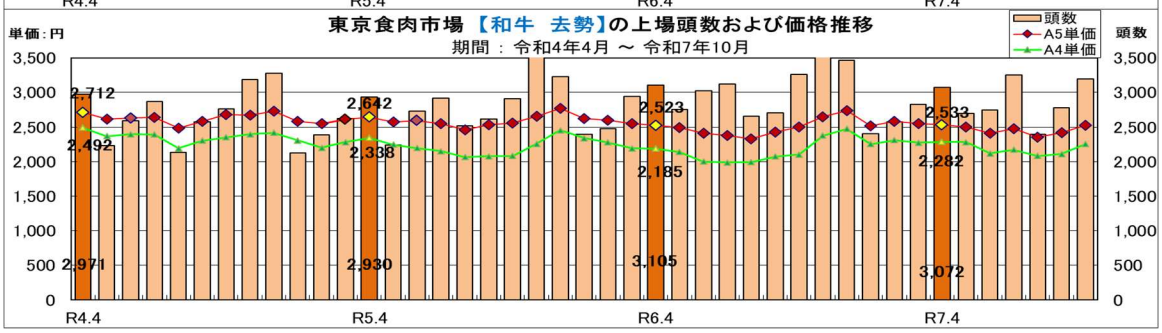
ＪＡ全農いばらき　畜産部

肉牛インフォメーション（10 月）

●10 月の動向

10 月は共励会・研究会等のイベントが多く、和牛は月全体を通して高品質な上物を中心に雌・去勢ともに強もちあいとなった。





●11 月の動向予測

11 月は連休が控えている他、気温も肌寒くなってきたことから、秋冬向けの裾モノから徐々に引き合いが強くなることが見込まれるため、和牛・交雑ともに中旬以降から相場が伸び始めると予測する。

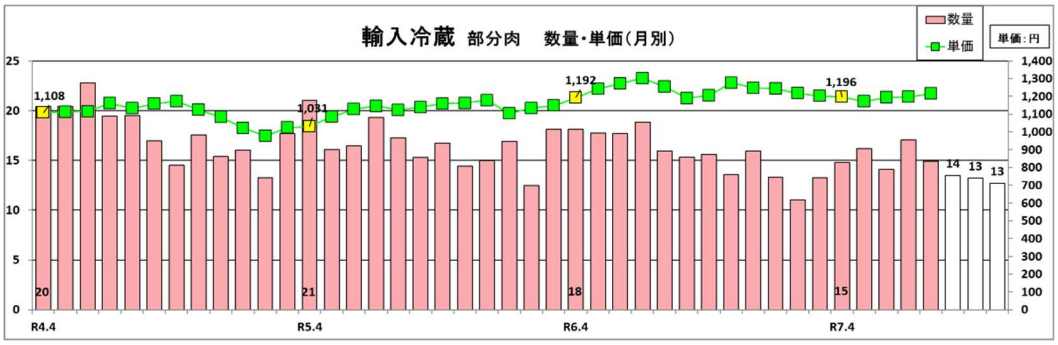
11 月相場は「ジリ高」の展開と予想。

和牛去勢　A5 等級 2,550 円（税込み）　　A4 等級 2,350 円（税込み）

交雑去勢　B4 等級 1,700 円（税込み）　　B3 等級 1,550 円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品は、国内需要が低調な中、現地価格の高止まり等により、主要輸入先を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれること等から、１０月はかなり大きく、１１月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、３カ月平均でも、前年同期をかなり大きく下回ると予測する。（ALIC 牛肉の需要予測について　１０月２９日）



ＪＡ全農いばらき　畜産部

食肉インフォメーション（10 月）

●10 月の動向

〇牛肉

10 月は多数の食品値上げの影響から、消費者の節約志向が一層強まり、和牛・交雑牛ともに切り落としなどの低価格部位を中心とした動きとなった。

〇豚肉

気温の低下によってバラや肩ロースの鍋物需要も高まったが、一方で食品全般の値上げを背景に節約志向が強く、販売の中心はウデ・モモなどの安価なスソ物中心となった。

●11 月の動向予測

〇牛肉

季節が進むにつれて、鍋物・お歳暮需要の高まりにより、すき焼き用のスライス材中心の販売になると見込まれる。量販店では「いい肉の日（11 月 29 日）」に合わせて和牛の販売が強化されると予想されるが、消費者の節約志向は根強く、今後の消費動向に合わせた販売戦略が必要となる。

〇豚肉

11 月はさらに気温の低下が見込まれるため、鍋物用としてバラ・肩ロースなどのスライス系商品の需要が強まると予想される。また、月末からは年末需要に向けたロースなどの高単価部位の動きにも期待される。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター　業態別取引先実績（令和 7 年 9 月期）　単位：千円%

年度	ＪＡどきどき	給食	仲卸関係	食肉専門店	量販店等	飲食店	合計
令和5年度9月	23,697	5,969	28,107	21,337	10,123	6,103	95,336
令和6年度9月	20,955	6,767	35,551	17,587	8,453	5,024	94,337
令和7年度9月	22,491	4,165	34,581	13,431	7,783	5,164	87,615
増減（R6-R7）	1,536	-2,602	-970	-4,156	-670	140	-6,722
対比（R5-R7）	95%	70%	123%	63%	77%	85%	92%
対比（R6-R7）	107%	62%	97%	76%	92%	103%	93%

ＪＡ全農いばらき　畜産部